

科目名	農業土木施工	単位数	2 単位	学科・学年	環境土木 科 3 年																																									
使用教科書	土木施工	実教出版	副教材等																																											
学習目標	<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業土木事業における施工と管理に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 農業土木施工について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 農業土木施工に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 農業土木施工について自然環境や安全に配慮し、合理的な施工・管理ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p> <p>(4) 2級土木施工管理技術検定試験の合格を目指した内容とリンクさせながら、法規や専門土木などの知識を身に付け、試験合格を目指す。</p>																																													
学習評価	<p>○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。</p> <table border="1"> <tr> <td>①知識・技能</td> <td colspan="4">授業により得た知識や技術が自分のものとして活用でき、自らの力によって答えを導きだすことができるか、ワークシートの取り組みや定期テストにより判断する。</td> </tr> <tr> <td>②思考・判断・表現</td> <td colspan="4">土木工事や環境維持に必要な考え方や工法を理解し、安全な土木工事の条件、環境に配慮した工法を用いる条件について、課題プリントなどの取り組みから評価する。</td> </tr> <tr> <td>③主体的に学習に取り組む態度</td> <td colspan="4">環境施工に対する関心と意欲を高め、意欲的に学習に取り組める態度や授業展開中の質問に対する応答、また課題に対する取り組みなどから評価する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">  </td> <td>評価方法\観点</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習状況観察</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>課題プリント</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>課題成果</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>テスト</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>—</td> <td>確認テスト・定期考査</td> </tr> </table> <p>※表中の◎は観点の中でより重視するところである。</p> <p>○土木専門用語など多数出てきますので、特殊な読み方などチェックすること。</p>					①知識・技能	授業により得た知識や技術が自分のものとして活用でき、自らの力によって答えを導きだすことができるか、ワークシートの取り組みや定期テストにより判断する。				②思考・判断・表現	土木工事や環境維持に必要な考え方や工法を理解し、安全な土木工事の条件、環境に配慮した工法を用いる条件について、課題プリントなどの取り組みから評価する。				③主体的に学習に取り組む態度	環境施工に対する関心と意欲を高め、意欲的に学習に取り組める態度や授業展開中の質問に対する応答、また課題に対する取り組みなどから評価する。					評価方法\観点	①	②	③		学習状況観察	○	○	◎		課題プリント	◎	◎	◎		課題成果	◎	◎	○		テスト	◎	◎	—	確認テスト・定期考査
①知識・技能	授業により得た知識や技術が自分のものとして活用でき、自らの力によって答えを導きだすことができるか、ワークシートの取り組みや定期テストにより判断する。																																													
②思考・判断・表現	土木工事や環境維持に必要な考え方や工法を理解し、安全な土木工事の条件、環境に配慮した工法を用いる条件について、課題プリントなどの取り組みから評価する。																																													
③主体的に学習に取り組む態度	環境施工に対する関心と意欲を高め、意欲的に学習に取り組める態度や授業展開中の質問に対する応答、また課題に対する取り組みなどから評価する。																																													
	評価方法\観点	①	②	③																																										
	学習状況観察	○	○	◎																																										
	課題プリント	◎	◎	◎																																										
	課題成果	◎	◎	○																																										
	テスト	◎	◎	—	確認テスト・定期考査																																									
履修上の注意	○各分野において資料を配布し、定期的に提出するので、各自で管理すること。																																													

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
1	4 5 6 7	第7章 工事のしくみと管理 1 工事のしくみ 2 施工計画 3 工事の見積り 4 工事の管理 5 安全衛生管理 6 工程管理 7 品質管理 8 原価管理	24	<ul style="list-style-type: none"> ・土木工事が、どのような手順や段階を踏んで実施されるのか学習する。 ・土木工事費がどのような要素から構成されているか認識し、実際に見積り計算を行う。 ・工事現場での統括管理と安全衛生管理体制について把握する。 ・品質保証計画における品質管理の位置づけと、品質管理の目的について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ※学習状況観察 ※配布プリント ※ノート提出 ※各定期考査
2	9 10 11 12	第8章 土木法規 労働基準法 労働安全衛生法 建設業法 道路関係法	26	労働の基本である労働基準法から安全管理について労働安全衛生法について学ぶ。また就職時に知っておきたい事項等も含めて学ぶ	実際に起きた法令違反の例を参考にしながら理解できるようになる。
3	1 2	環境保全関連法規 その他の関連法規	20	<p>騒音・振動規制法など建設工事に必ず配慮しなければならない事柄について学ぶとともに、河川法・火薬類取締法・建築基準法などの関連法規についても学ぶ。</p> <p>★2級土木施工管理技術検定試験合格を目指して、受験直前には受験対策も行う。</p>	
			70		